



甌島ツーリズムビジョン

【概要版】

平成27年3月
薩摩川内市

ツーリズムビジョンの位置付け

本ビジョンでは、「第2次薩摩川内市総合計画・基本構想・基本計画」（計画期間：平成27年度～平成36年度）を上位計画とし、甑島の観光を主軸とした地域振興に特化した計画として位置付け、県の観光施策や本市の関連する各分野の既存計画との整合性を図り、年度ごとの実行計画を立て、甑島地域における観光振興を進める。

第2次薩摩川内市総合計画・基本構想・基本計画

分野別計画

()は計画期間

薩摩川内市観光振興基本構想（19～26年度）

薩摩川内市ブランド・シティセールス推進計画（21～26年度）

薩摩川内市環境基本計画（27～36年度）

薩摩川内市六次産業化基本計画（26～30年度）

薩摩川内市ふるさと景観計画（27～31年度）

等

連携・整合

甑島ツーリズムビジョン

関連する分野計画での取組と整合を図り、観光を柱とした地域振興を実現するために、共有すべき基本理念や基本方針などを構築するとともに課題解決型の行動計画として策定するもの

ビジョンの計画期間

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ビジョンの 行動計画					
ビジョンの 進行管理					

ビジョンの構成

ビジョンを実現するためには、地域住民、地域団体、事業者、行政等の多様な主体が共通の理念を持ち、同じ方向を向いて甑島ツーリズムの具体的な取組を進めていくことが重要である。

そのために甑島の魅力を一言で表す合言葉(コンセプト)と観光マーケティングの側面からのターゲットを設定し、各課題について、「課題解決に向けた取組」と「取組の具体例」を示したうえで、期間と役割分担を含めた行動計画を明示する。



基本理念

ビジョンの真の目的は観光振興を主軸とした地域振興である。甑島が誇れる固有の風土の本質的価値を理解し、護り、より魅力的な形に磨いて次世代や観光客などの来訪者に伝えることで、誰もが誇れる甑島の姿を次世代に受け継ぐ。この考え方をビジョンの基本理念とし、島民皆が共有し行動に移すことを推進する。

<基本理念のキャッチフレーズ>

皆が誇れる甑島の風土と営みを、護り磨いて次世代に受け継ぐ

<4つの基本理念>

■地域経済への寄与

…多様な産業間の連携による観光振興を図ることによって、観光業のみならず、農業・漁業、製造加工業、宿泊業、飲食業、交通サービス業など、様々な産業分野の発展に寄与し、島民の所得向上と雇用機会の拡充に寄与する。

■交流の促進

…観光振興によって、地域間の交流（上甑と下甑、地区と地区、島と本土）、業種間の交流（観光業とその他の産業）、官民の交流（島民・民間事業者と行政（市、県、国））を促進する。

■誇りの醸成と継承

…甑島の自然や歴史・文化、生業・生活、そして甑島の人々のあたたかい心に対する認識と共有が進み、島民の誇りが醸成されるとともに、それらを次世代に継承する仕組みを構築する。

■持続可能な地域社会の形成

…地域経済への寄与、交流の促進、誇りの醸成と継承によって、「住んでよし、訪れてよし」の地域社会が形成され、豊かな甑島を将来にわたり持続していく。

基本方針

「甑島の資源の保護と活用による観光振興を主軸とした地域振興」をビジョン実現のための基本的な方向性、すなわち基本方針と位置付ける。

甑島の資源の保護と活用による観光振興を主軸とした地域振興

～エコツーリズムからジオツーリズムへ～

コンセプト

コンセプト：**こころ・自然・とき** がつながる島

- **こころ**：甑島の人々の優しい心
- **自然（しぜん）**：国定公園に指定されるほどの貴重で豊かな自然環境
- **時空（とき）**：8,000 万年前の太古から現代の生活までの悠久の時間と、そこに現れる空間
- **つながる**：心と心がつながること、上甑と中甑、下甑が橋でひとつにつながること、これからの未来へ今の風景をつなげていくことを象徴

【コンセプトの遊び心】

「こころ」と「しぜん」と「とき」と「つながる島」を右のように並べると、「こしき島」が浮かび上がります。甑島に住む皆様のご意見をヒントに、みんなが誇れる「こしきしま」のコンセプトとして印象に残るコンセプトを組み立てました。

こころ
しぜん
とき
つながる島

ターゲット

<メインターゲット>

■九州圏内及び都市部在住のシニア層と九州圏内及び 一次交通直結都市部の 20 代～40 代女性

- ・九州圏内及び都市部在住のシニア層（60 歳以上）
- ・九州圏内及び一次交通直結都市部の 20 代～40 代独身女性

<サブターゲット>

- ・県内在住のファミリー層
- ・九州圏都市部在住の 20 代男女
- ・外国人旅行者

ビジョン実現に向けた行動計画 - 7つの方針 -

方針1：地域資源の保護と活用

甌島の魅力的な地域資源を改めて掘り起こし、保護と活用の方策を定める。

方針2：受入環境の向上

宿泊・飲食業、移動手段、観光インフラ等の受入環境は、地域の印象を左右する重要な要素であるため、受入環境向上のための方策を定める。

方針3：魅力的な商品・サービスの提供

地域資源を活かした体験プログラムや付加価値の高い特産品を開発・商品化し、より一層の魅力的な観光地域づくりを目指す。

方針4：甌島ツーリズムの担い手の育成・確保

観光地域には地域の魅力を伝えるガイドが必要不可欠である。甌島では、エコツーリズム・ジオパークの認定を見据えた教育や調査を進めるとともに、満足度の高いサービスを提供できる観光ガイドの育成を行う。

方針5：効果的な情報の発信

来訪者の旅行の満足度向上のため、サイン整備やガイドブック、ホームページ等の情報コンテンツの充実を図る。

方針6：持続可能なマネジメント機能の確保

観光商品・サービスの品質管理、マーケティング活動、地域資源を保全するための財源確保、甌島ツーリズムビジョンの進行管理といったマネジメント機能を確保する。

方針7：地域一体となった推進体制の構築

観光振興が地域の振興に寄与するために、地域一体となった推進体制を構築し取組を進めていくことが必要となる。また、甌島ツーリズムを包括的にマネジメントするための新しい組織を設立する。

ビジョン実現に向けた行動計画 - 各方針の課題と取組 -

甌島において、抽出された課題に対し、課題解決に向けた取組を定めるとともに、計画期間5年間の取組時期と内容及び実施主体を位置付け、行動計画として取りまとめる。

■ 方針1: 地域資源の保護と活用

甌島には数多くの魅力的な地域資源があるが、貴重な資源を保護するルールが定められておらず、また、有効に活用されていないものも多いため、甌島の魅力的な地域資源を改めて掘り起こし、保護と活用の方策を定める。

自然環境

課題 資源保護と観光振興の機運の醸成

- 取組
- ・国定公園に関する広報紙での更なる周知
 - ・自然保護のための規制の周知

課題 地域資源の保護・管理の仕組みと適正な利活用方策の検討

- 取組
- ・学術調査の実施による自然環境の保護・管理の仕組みづくり
 - ・自然環境を活かした滞在コンテンツの開発

課題 甌島固有の風景・景観の維持、魅力向上の推進

- 取組
- ・甌島固有の風景・景観の保護、魅力向上の推進
 - ・不法投棄の対応
 - ・海岸沿いのゴミの除去

農林水産物

課題 甌島の農林水産物を活用した地域産業の活性化

- 取組
- ・甌島の農林水産物を活用した六次産業化の促進

生活・文化

課題 甌島固有の生活文化や日常風景の価値の再認識

- 取組
- ・甌島固有の生活文化や日常風景の掘り起こしと独自の価値の見える化

■ 方策2:受入環境の向上

宿泊・飲食業、移動手段、観光インフラ（道路やトイレ拠点施設等）といった受入環境は、来訪者にとってその地域の印象を左右する重要な要素であることから、受入環境向上のための方策を定める。

宿泊 ・ 飲食

課題 宿泊・飲食業の品質確保

- 取組
- ・事業者間の定期的な意見交換、ソフト面での「おもてなし」の体制構築
 - ・宿泊・飲食業者のサービス品質の向上
 - ・観光事業（飲食、宿泊等）に関する実態調査の実施

移動手段

課題 レンタカー・タクシー・コミュニティバスなど、島内移動手段の環境整備

- 取組
- ・島内における観光面での二次交通機能の確保

課題 観光ガイド等による自家用車送迎に対する法規制への対応

- 取組
- ・エコツーリズム推進法の認定を受けることによる規制の解除
 - ・島民及び島内交通機関との調整

課題 蘭牟田瀬戸架橋を契機とした自転車観光の推進

- 取組
- ・自転車観光専用ルートの設定

課題 海上交通の利用環境の向上と安定航行の確保

- 取組
- ・海上タクシーによる交通利便性の向上
 - ・高速船料金・フェリー料金の軽減等による利用促進
 - ・高速船の安定的運航
 - ・高速船の利用促進

観光インフラ

課題 管理の行き届いていない道路や登山道等の調査・整備・維持管理

- 取組
- ・定期的な地域の巡回
 - ・計画的な道路等の整備と維持管理

課題 公衆トイレの利用環境の向上

- 取組
- ・トイレ設置場所の周知
 - ・新しい公衆トイレの設置

課題 バリアフリー環境の向上

- 取組
- ・観光施設等のバリアフリー化

課題 待合所の魅力化

- 取組
- ・待合所におけるお土産店等の配置

課題 観光の拠点となる全天候型交流施設の整備

- 取組
- ・学習・体験・物販・休憩・情報発信の機能を持つツーリズムの中核施設の整備

課題 通信環境の向上

- 取組
- ・Wi-Fi 環境の整備

■ 方針3:魅力的な商品・サービスの提供

地域資源を活かした体験プログラムや特産品は、観光地域の魅力を示す代名詞である。甌島には価値ある地域資源が豊富にあることから、滞在中に体験できるコンテンツ（滞在コンテンツ）や付加価値の高い特産品を開発・商品化し、より一層の魅力的な観光地域づくりを目指す。

滞在コンテンツ

課題 魅力的な交流・イベントの開催

- 取組
- ・ビジョンに照らした既存の交流
 - ・イベントの精査と新たなイベントの検討

課題 海や漁業を活かした滞在コンテンツの商品化

- 取組
- ・体験型漁業メニューの開発・提供
 - ・自然環境を活かした滞在コンテンツの開発(再掲)

課題 甌島独自の個性を活かした滞在コンテンツの提供

- 取組
- ・テーマ、ストーリー性のある滞在コンテンツの商品化
 - ・藺牟田瀬戸架橋を契機とした滞在コンテンツの開発・商品化

課題 雨天時にも対応可能な滞在コンテンツの提供

- 取組
- ・雨天時にも対応可能な滞在コンテンツの開発

特産品

課題 甌島における高付加価値の商品開発・販売の更なる促進

- 取組
- ・土産品の充実及び新たな特産品の開発
 - ・より多くの地元開発商品を販売する仕組みの確立

■ 方針4: 甌島ツーリズムの担い手の育成・確保

観光地域においては、地元ならではの視点と高度な知識によって、地域の魅力を効果的に伝えるガイドが必要不可欠である。このため、観光ガイドの案内技術の水準を確保するとともに、満足度の高いサービスを提供するガイドを育成する。また、来訪者の安全を確保するための仕組みづくりを行う。

さらに、甌島の貴重な自然環境を活かしたエコツーリズムの実践、将来的にはジオパークへの認定も見据えて、環境教育や学術調査を進める。

ガイド

課題 観光ガイドの案内技術の水準確保

取組 ・観光ガイド技能向上に関する研修実施

課題 満足度の高いガイドサービスの導入等

取組 ・公認観光ガイド制度の制度化確立
・専門知識を持つ人材の確保

課題 ガイドサービスのリスクマネジメントの実施

取組 ・リスクマネジメントに関する研修会の開催

環境教育

課題 エコツーリズムと将来的なジオパークを見据えた、 環境教育の推進と学術調査の実施

取組 ・環境学習の推進
・ジオパークの認定を見据えた学術調査の実施

■方針 5:効果的な情報の発信

来訪者に対して地域の情報をわかりやすく魅力的に伝えることは、旅行の満足度に大きく影響を与える。このため、今まで以上にわかりやすい案内サインの整備、地域資源・観光サービス（昼食、移動手段等）に関する情報の整理・発信及び予約システムの整備、ホームページ・ガイドブック等の情報コンテンツの充実を図る。

案内機能

課題 わかりやすい案内標識・サイン、総合案内板の整備

- 取組
- ・既存の案内設備の現状確認等
 - ・機能性のある案内サインの整備
 - ・昼食場所やお土産販売店等の看板設置

課題 地域資源の魅力を解りやすく伝えるための機能の確保

- 取組
- ・地域資源の魅力をわかりやすく伝える説明板の設置

情報発信ツール

課題 情報発信のための基本情報の整理

- 取組
- ・観光情報に関するデータベースの整備

課題 昼食や移動手段などの各種サービスの予約の必要性の事前周知

- 取組
- ・来訪者への事前の周知

課題 各種予約システムの構築

- 取組
- ・各種(宿泊・飲食・交通・体験プログラム等)予約システムの構築

課題 観光情報をわかりやすく伝えるホームページ・ガイドブック等情報コンテンツの整備

- 取組
- ・ホームページ・ガイドブックの更新
 - ・島民による地域情報の発信

■ 方針 6: 持続可能なマネジメント機能の確保

甌島ツーリズムを推進するに当たって重要となる観光商品・サービスの品質管理、マーケティング活動、地域資源を持続的に保全するための財源確保、甌島ツーリズムビジョンの進行管理といったマネジメント機能を確保する。

品質
管理

課題 観光事業者が提供する商品・サービスの品質水準の向上

取組 ・観光事業者が提供する商品・サービスの実態把握と品質の確保

マー
ケ
テ
ィ
ン
グ

課題 マーケティング戦略の構築・安定した集客の誘致促進

取組 ・定期的な市場調査の実施

財
源
確
保

課題 自然環境の持続的な保全等のための安定した財源確保

取組 ・来訪者からの自然環境保護に対する資金の確保

ビジ
ョ
ン
の
進
行
管
理

課題 ビジョンの推進

取組 ・ビジョンの進行管理

■ 方針7: 地域一体となった推進体制の構築

甌島の観光振興が地域の振興に寄与するためには、地域一体となった推進体制を構築し、利害調整や合意形成を図りながら各自の役割分担に応じて取組を進めていくことが必要となる。このため、世代間・地域間・業種間の連携と協力を促進し、地域住民の観光振興への参画意欲の醸成を図る。また、甌島ツーリズムを包括的にマネジメントするための新しい組織を設立する。

連
携
・
関
係
者
の
理
解
と
寄
与

課題 世代間及び地域間の情報交換・交流の機会の確保

取組 ・世代間、地域間で情報交換を行う交流会の開催

課題 事業者間の情報交換・交流の機会の確保

取組 ・事業者間の定期的な意見交換(再掲)

課題 事業者間の連携促進による島内資源の有効活用

取組 ・より多くの地元開発商品を販売する仕組みの確立(再掲)

課題 地域住民の観光振興の取組への参画意欲の向上

取組 ・地域住民参画のムードづくり

課題 自然環境の保全と活用による観光の推進、甌島観光の品質管理・マーケティング活動・進行管理・人材育成・財源の確保を担う組織の設立と運営

取組 ・推進組織の設立

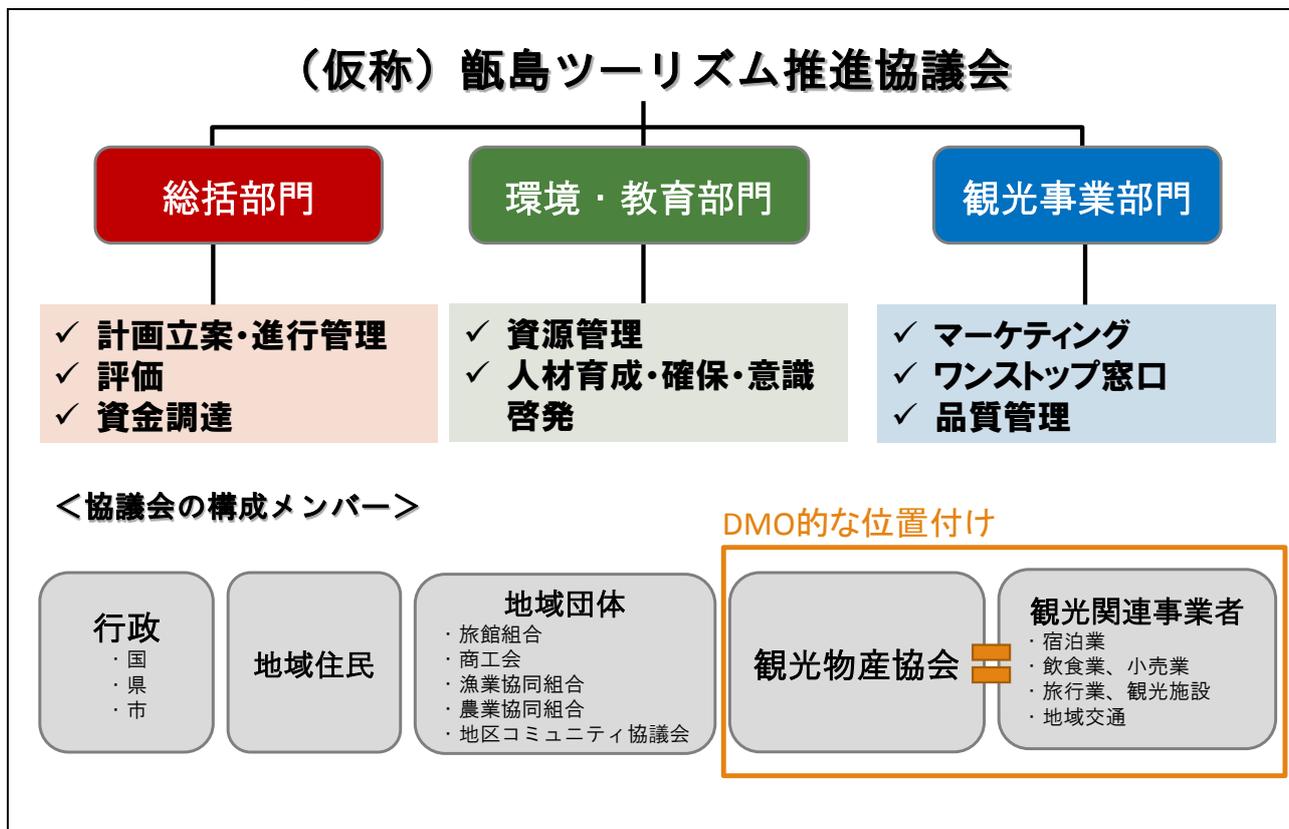
推進組織

甌島ツーリズムを具体的に推進していくためには、甌島全体の観光振興をマネジメントする組織が必要となる。このため、行政・地域・各事業者等の多様な主体の参画による新たな推進組織を設置し、エコツーリズム推進法認定のための全体構想の作成や甌島ツーリズムのマネジメントを実施する。

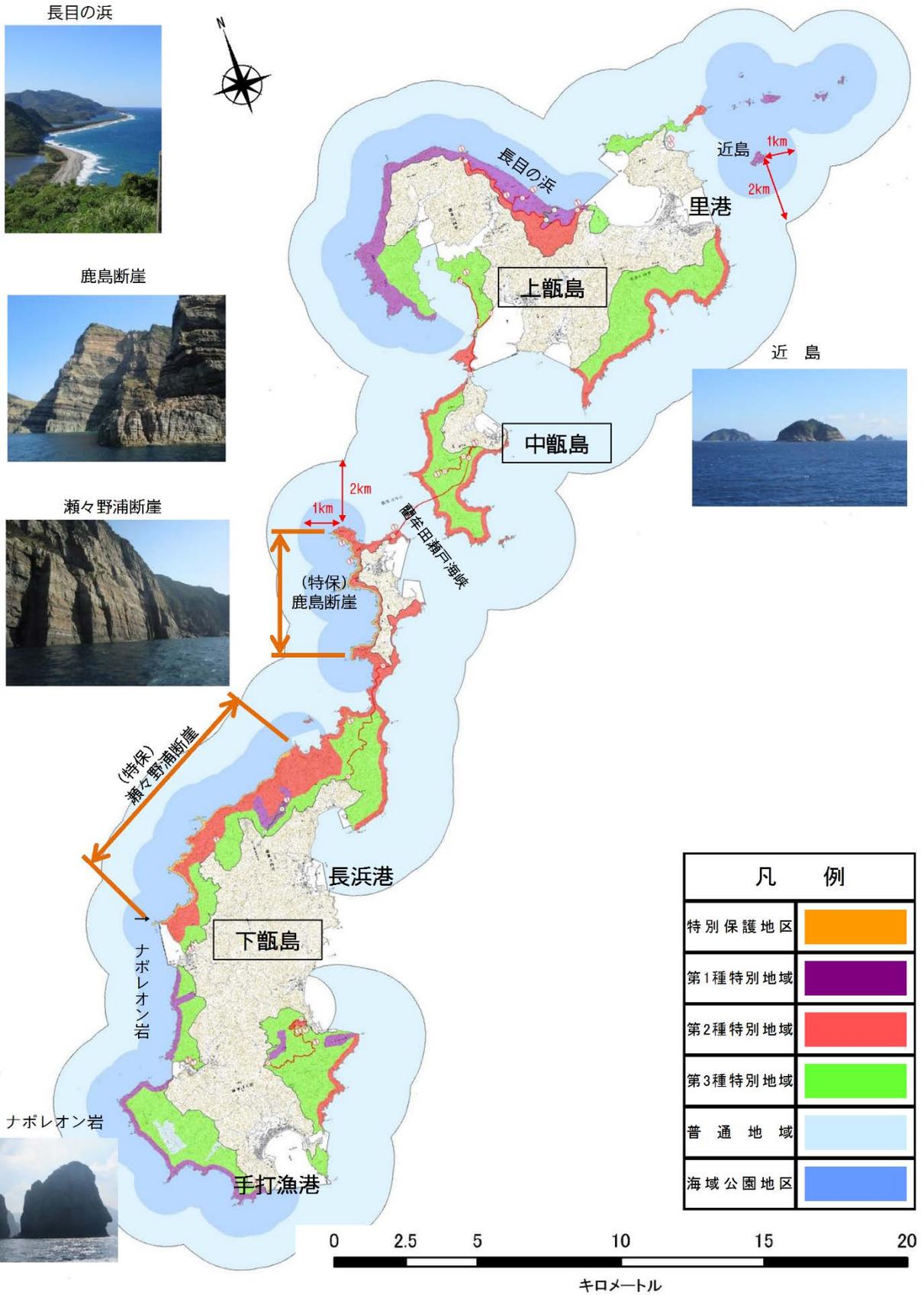
なお、この推進組織にあってはいわゆるDMO※としての機能が強く求められ、特に観光分野においては、観光物産協会と観光事業者が連携してこの機能を担保していくことが期待される。

※DMOとは Destination Marketing/Management Organization の略で、観光地のマーケティング&プロモーションやブランディングのほか、クオリティコントロール、安全管理、資源管理などを担う機関を意味する。欧米諸国において先進的に観光集客の核として機能しており、近年日本でも少しずつ浸透してきている。(参考：観光地域づくりプラットフォーム推進機構 研究経過)

【推進組織のイメージ】



〇甑島国定公園 計画図





太古の地球を感じる宝の島

甑島ツーリズムビジョン

平成27年3月発行

編集・発行 薩摩川内市 企画政策部 企画政策課

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

TEL 0996-23-5111

FAX 0996-20-5570

<http://www.city.satsumasendai.lg.jp>

E-mail koshikishima@city.satsumasendai.lg.jp